（平成１９年７月分）

部　門	市況の概要
野　菜	７月期の野菜の入荷状況については，上中旬は前月からの低温や日照不足から，全般に不安定な入荷となったが，下旬は天候の回復とともにほとんどの品目で入荷量は増加した。また，土物類の入荷は比較的安定しており，全体の入荷量としては前年同期を６％上回った。 価格は，天候不順の影響により，多くの品目で入荷量の増減に伴う単価の上下があったものの，全体としては前年並みとなった。 品目別には，大根，甘藷，玉葱，生椎茸などの入荷が多く，入荷増となった品目を中心に単価安となった。また，輸入品に対する消費者の不安感から，加工業務用を中心に国産志向が高まり，キャベツ，レタスにおいては，前年並みの入荷でありながら単価高となった。 根菜類は，入荷が１１％増加し，価格は２８％安となった。 葉菜類は，入荷が前年並みで，価格は１３％高となった。 果菜類は，入荷が４％増加し，価格は５％高となった。 土物類は，入荷が１３％増加し，価格は１２％安となった。
果　実	果実の入荷状況は，桃，幸水，イチジク等は順調な入荷となったが，スイカ，メロン類は前進出荷等により入荷が減少し，果実全体としては，前年同期を４％下回った。 価格は，日照不足による桃の品質低下や，上中旬の低温によるスイカの消費低迷など，一部の品目では単価安となったものの，果実全体としては前年並みとなった。 柑橘類は，入荷が１２％減少し，価格は１６％高となった。 りんごは，入荷が１０％増加し，価格は４％高となった。 もも類は，入荷が１８％増加し，価格は１３％安となった。 ぶどうは，入荷，価格ともに前年並みとなった。 メロンは，入荷が前年並みで，価格は１０％安となった。 スイカは，入荷が９％減少し，価格は９％安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長大根	北海道，青森県を中心に入荷。昨年発生した軟腐病は本年は見られず，順調な入荷となり，前年同期を１２％上回る入荷となった。 価格は，安定した入荷状況から単価安で推移し，前年同期を２０％下回った。
洋人参	北海道，青森県を中心に入荷。作柄は良好で,入荷量は前年同期を６％上回った。 価格は，主力産地の北海道，青森県産ともに旱魃の影響で品質が低下し，前年同期を４３％下回る結果となった。
【葉菜類】 はくさい	長野県，北海道を中心に入荷。上中旬の低温や日照不足の影響により作柄は悪かったものの，当市場への集散機能が発揮され，入荷量としては前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄で堅調に推移していたものの，高値で推移した前年同期比では６％下回った。
キャベツ	長野県，群馬県を中心に入荷。長野県，群馬県ともに低温等の影響により作柄は悪かったが，当市場への入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄の中で加工業務用を中心に需要は高く，前年同期を４０％上回った。
ほうれんそう	岐阜県を中心に，北海道，茨城県からの入荷。上中旬の曇天等により入荷量は減少したが，下旬からは天候の回復とともに入荷量も増加し，結果として前年並みの入荷となった。 価格は，入荷量の増減により上下はあったが，全体としては前年並みとなった。
レタス	長野県，北海道を中心に入荷。長野県では他の野菜以上に曇天等が影響し作柄が悪かったものの，集散機能が発揮され，さらに北海道からの集中的な入荷もあり，結果として入荷量は前年同期を４％上回った。 価格は，全国的な品薄の中で，加工業務用，一般消費用ともに需要が高く，前年同期を２４％上回った。

【果菜類】 きゅうり	福島県を中心に，中旬からは愛媛県からも入荷。主力の福島県が低温などの天候不順により減少傾向であったが，中旬からは生育が遅れていた愛媛県からの入荷も加わり，全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は，中旬までの単価高の影響を強く受け，前年同期を２０％上回った。
な　　す	京都府を中心に入荷。長梅雨や台風の影響により，入荷量は一時的に減少したが，下旬からは入荷量も回復し，結果的には前年並みの入荷量となった。 価格は，中旬に台風の影響等により単価高となり，前年同期を１３％上回った。
トマト	岐阜県，北海道を中心に入荷。長梅雨等の影響で，上旬はやや入荷が減少したものの，中旬以降は順調な入荷となり，全体の入荷量としては前年同期を７％上回った。 価格は，前月の安値の反動もあり，前年同期を９％上回った。
ピーマン	茨城県，大分県，兵庫県，福島県を中心に入荷。兵庫県，福島県産は天候不順によって出荷が出遅れ，全体の入荷量としては前年同期を４％下回った。 価格は，入荷が増加した下旬には単価安となったが，上中旬は堅調に推移し，結果的に前年同期を５％上回る結果となった。
【土物類】 ばれいしょ （メーク含む）	長崎県，千葉県，静岡県を中心に入荷。中旬から青森県，北海道からの入荷も増え，全体の入荷量としては前年同期を９％上回った。 価格は，５月からの消費低迷による単価安が継続し，前年同期を３０％下回る結果となった。
たまねぎ	兵庫県を中心に入荷。作柄良好で入荷量も増加し，全体としては前年同期を２１％上回った。 価格は，前年に比べ大玉で品質も良好だったものの，入荷増の影響を受けて単価は低迷し，前年同期を６％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀県,長崎県,和歌山県を中心に入荷。入荷量の増減はあったものの，生産面積が減少していることもあり，結果としては前年同期を７％下回った。 価格は，入荷減に加えてギフト需要が安定しており，前年同期を１３％上回った。
ふ　じ （サン含む）	青森県産のみの入荷。前進出荷で早期終了する生産者が多い中，集散機能が発揮され，当市場の入荷量としては前年同期を２７％上回った。 価格は，入荷増でありながら全国的な品薄感から，前年並みで推移した。
もも	山梨県，和歌山県を中心に入荷。入荷は順調で前年同期を１８％上回った。 価格は，中旬以降の入荷増に加え，天候不良や日照不足による品質低下によって，前年同期を１３％下回る結果となった。
デラウェア	山形県，山梨県，京都府，大阪府を中心に入荷。京都府，大阪府は切り上がりが早く，全体の入荷量は前年同期を４％下回った。 価格は，入荷の減少した中旬には若干上がったが，全体としては前年並みとなった。
巨峰	福岡県，長野県，山梨県を中心に入荷。入荷は安定しており前年並みとなった。 価格は，天候不順等により酸切れが悪い状態だったものの，ギフト需要が安定しており前年並みとなった。
アールス	静岡県，高知県，愛知県を中心に入荷。各産地ともに作付けが減少したため，入荷も減少し，全体の入荷量は前年同期を１８％下回った。 価格は，天候不順により下級品率が高く，入荷減にもかかわらず前年同期を４％下回った。
すいか	石川県，鳥取県，長野県を中心に入荷。鳥取県が前進出荷したことによって切り上がりが早く，全体の入荷量は前年同期を９％下回った。 価格は，長梅雨による低温のために消費が低迷し，入荷減でありながら前年同期を９％下回った。